

仁藤 夢乃さん 講演会



大人が知らない 子どもの事情

～中高生の安心、安全が保てない現実～

9月6日(日)

13:30～16:00
(開場30分前)

東区総合福祉センター 3階大会議室

参加申し込み
受付中

*必ず事前申し込みのこと。

*申し込み先 電話またはFAX(082-233-8655)
お申し込みの際は、住所、氏名、電話番号をお知らせください。

毎日のように「子どもの事件」が報道されています。特に、川崎の事件、千葉の事件は、10代の子どもたちの複雑な現実を象徴しているものであり、氷山の一角ともいえるでしょう。広島では、2013年7月に発生した、灰が峰の事件が記憶に新しいところです。その背景としては、貧困問題、虐待問題に加えて、スマホ社会、ネット依存、孤独化の進行が、子どもたちの世界を一層深刻な状況にしている現実があることをうかがわせます。

こうした現実を大人としてしっかり認識し、行き場を失った10代の子どもたちへの支援について考えていく場を持つことが必要ではないでしょうか。子どもに直接、間接的に支援を行う“子育て支援”の必要性及びネットワークの活動が、子どもの安心・安全な地域づくりへと結びつく問題提起になればと考えます。

参加費無料 *事前申し込みの無い方は入場できません。*要約筆記、手話通訳付き

主催:こどもの笑顔と安心、安全な地域づくりネットワーク

後援:広島県 広島市 広島県教育委員会 広島市教育委員会 中国新聞社 NHK広島放送局 中国放送 広島テレビ 広島ホームテレビ テレビ新広島

連絡先 NPO法人ひろしまチャイルドライン子どもステーション 事務局内
TEL&FAX 082-233-8655 携帯 090-7998-6113

<プロフィール>

仁藤 夢乃 Nito Yumeno



1989年生まれ。中学生の頃から「渋谷ギャル」生活を送り、高校を2年で中退。その後、ある講師との出会いをきっかけに農業、国際活動に触れボランティア活動をはじめ、明治学院大学に進学。在学中には高校生を対象とする国際支援のファッションショーを成功させた。

東日本大震災後、「Colabo」を立ち上げ、被災地の高校生・地元企業と開発した支援金付大福は、発売3カ月間で3万3700個売り上げた（現在も販売は続いており、計15万個近く販売されている）。

2013年3月、『難民高校生』（英治出版）を出版。2014年8月『女子高生の裏社会「関係性の貧困」に生きる少女たち』（光文社新書）新書出版。

現在、声を上げることのできない少女たちの声を聴き、「居場所のない高校生」や「性的搾取の対象になりやすい女子高生」の問題を社会に発信するとともに「若者と社会をつなぐきっかけの場づくり」事業を展開し、少女たちの自立支援を行っている。

仁藤夢乃さんたちが立ち上げた

女子高生サポートセンターColabo(コラボ)とは？ (コラボHPより)

すべての少女に「衣食住」と「関係性」を。私たちは、すべての少女が「衣食住」と「関係性」を持ち、困難を抱える少女が暴力を受けたり、搾取労働に行き着かなくてよい社会を目指して活動しています。

高校中退者数：年間約5万5千人

不登校者数：(中学)年間約9万5千人(高校)年間約5万6千人

10代の自殺者数：年間450～600人

10代の人口中絶件数：年間2万件以上

子どもの貧困：6人に1人

虐待、ネグレクト、友人関係、性被害、精神的不安…さまざまな状況が重なって、居場所や社会的なつながりを持たない「難民高校生」が生まれています。性的搾取や人身取引、非行の現場には、「衣食住」と「関係性」を失った少女が多くいます。少女たちの伴走者に困っている人の一番の困りごとは、「助けて」と言えないこと。「あなたはどうしたい？」と問われても、それがわからないことです。混乱した生活の中、落ち着いて考えられる環境や、一緒にものごとを整理してくれる人との信頼関係や体験があって初めて、自分の状況を見つめ向き合うことができます。

私たちは、食卓を囲む時間や体験を共有し、何気ない日常を積み重ねることで、互いを知り、困った時に頼れる信頼関係を築いています。半年以上密に関わって初めて、性的虐待の被害にあっていることを話してくれる少女もいます。ほとんどの場合、抱える問題はすぐに解決できることはありません。だからこそ、長い目で付き合い、喜びや苦しみを分かち合い、泣き、笑い、怒り、共に歩める伴走者でありたいと考えています。



こどもの笑顔と安心、安全な地域づくりネットワークとは？

私たちは、2015年2月1日に“こどもの笑顔と安心、安全な地域づくり”ネットワーク結成準備会として、「尾木ママ講演会」を開催し、「子ども支援の地域づくり宣言」を行いました。この会を主催した5団体(NPO法人CAP広島、NPO法人ひろしまチャイルドライン子どもステーション、NPO法人ピピオ子どもセンター、子ども虐待ホットライン広島、公益社団法人広島県社会福祉士会子ども家庭支援委員会)が中心になり、地域づくり宣言を現実のものとするべく、ネットワークを正式に結成することを確認し、9月6日に「ネットワーク結成総会」を開催することになりました。

私たちは、中高生を含めた子どもたちの生活拠点となる地域が、“こどもの笑顔と、安心・安全を守れる地域”となるよう、県内の子ども支援活動団体等の顔や活動の見える息の長いゆるやかなネットワークの構築を図ります。今回はネットワークの結成にあたり、社会課題の一つである「中高生(10代)の安心、安全が保てない現実」を伝える機会とします。

★参加希望の方は事務局まで電話かFAX(082-233-8655)でお申し込み下さい。